

# EA-7HW04AP1 設定例

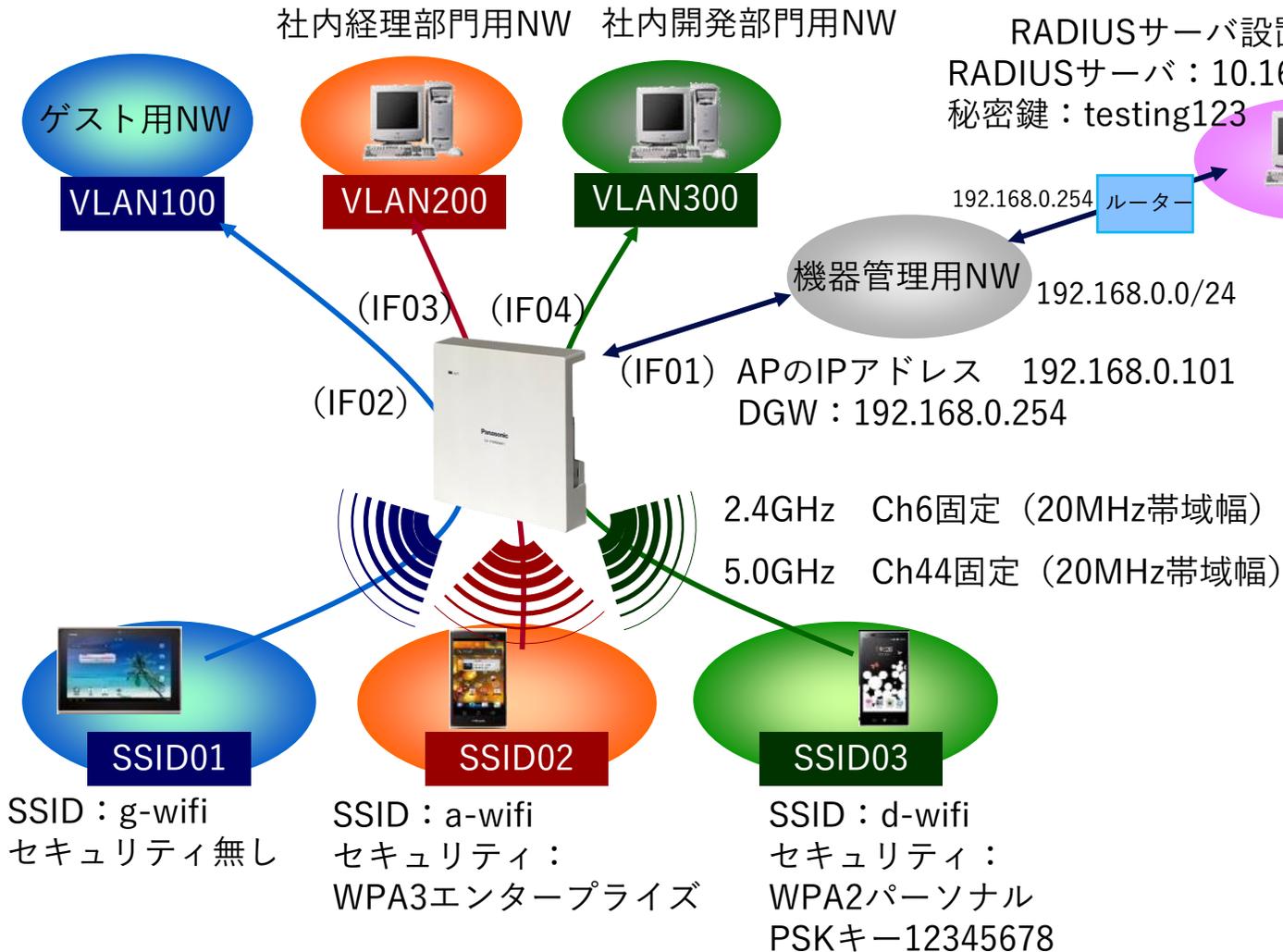
## ②マルチSSID設定手順

2025/02

パナソニック コネクト 現場ソリューションカンパニー

**Panasonic**  
**CONNECT**

# 構成例



管理IPアドレス：192.168.0.101/24 (IF01)  
DGW：192.168.0.254 (IF01)  
ゲスト用NW：IF02 (VID100)  
社内経理部門用NW：IF03 (VID200)  
社内開発部門用NW：IF04 (VID300)  
ゲスト用SSID01：  
g-wifi (セキュリティ無し)  
社内経理部門用SSID02：  
a-wifi (WAP3エンタープライズ)  
社内開発部門用SSID03：  
d-wifi (WPA2パーソナル)  
RADIUSサーバーIPアドレス：10.167.0.201  
RADIUSサーバー共通秘密鍵：testing123  
無線2.4GHz：Ch6/20MHz帯域幅  
無線5.0GHz：Ch44/20MHz帯域幅

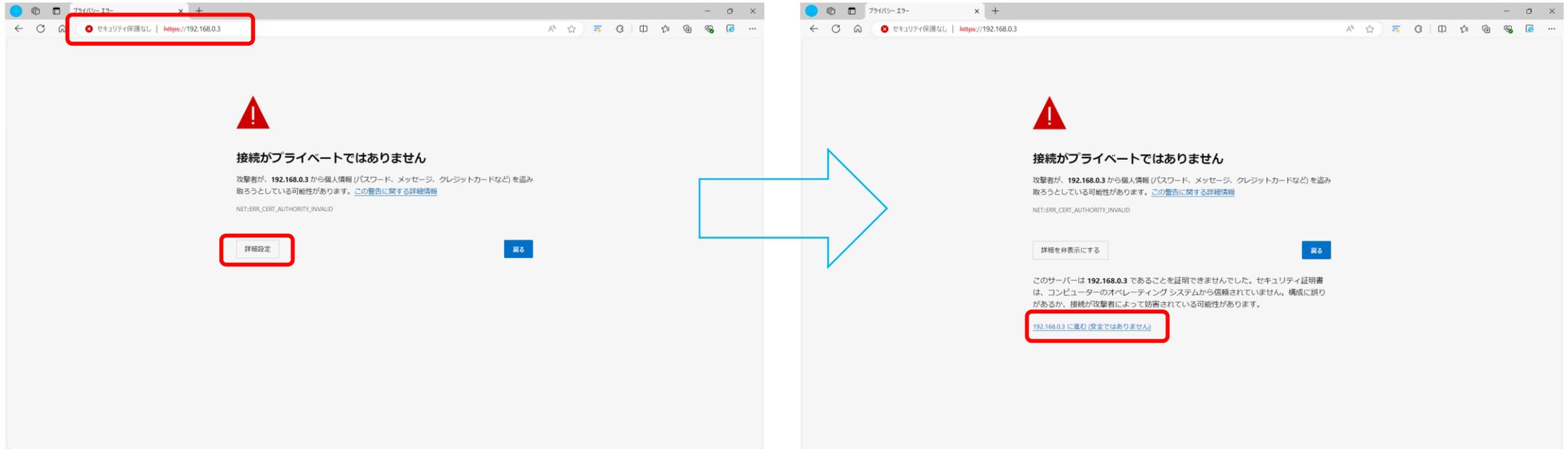
※各SSIDに接続する無線端末のIPアドレスは、各SSIDに紐づけされた各上位ネットワーク（それぞれVLANが異なる）上のDHCPサーバより配布される想定です。  
※SSID03のセキュリティーはWPA3エンタープライズのため、外部RADIUSサーバーで認証を行います。この例では、その際にAPがRADIUSサーバーと認証の通信を行うIPアドレスを、IF01に設定した管理IPアドレスとしています。

# マルチSSID設定手順の流れ

設定手順は以下の流れで行います。

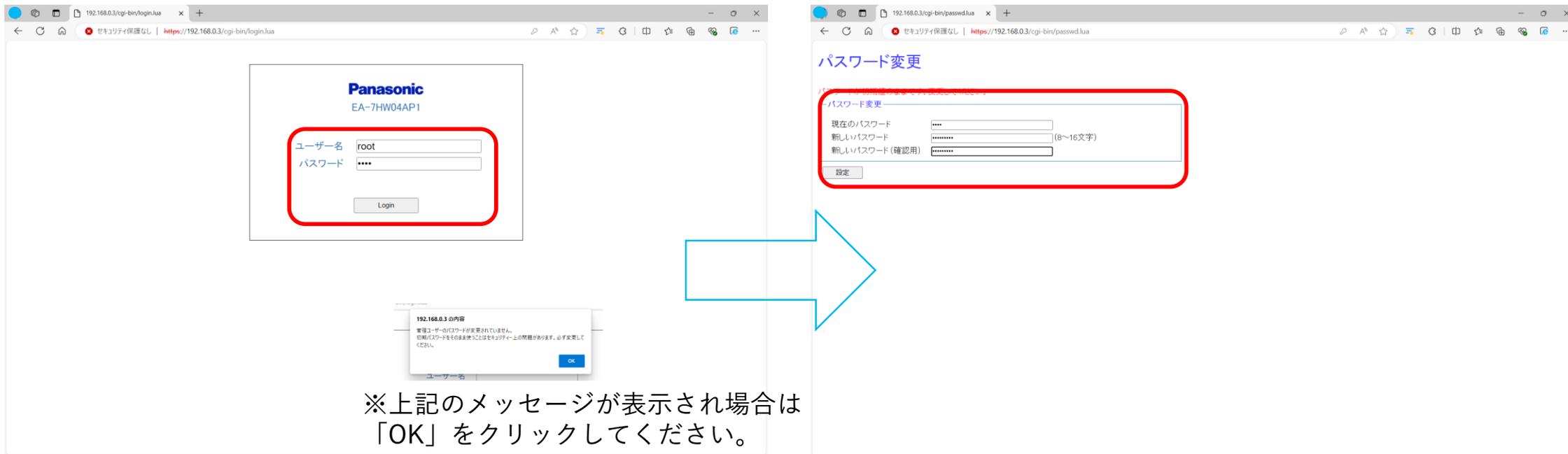
- 1) 装置インターフェース設定
  - ① IF01の設定（管理用IF）IPアドレスの変更
  - ② IF02の設定（ゲスト用IF）VLAN100の設定（IPアドレスは不要）
  - ③ IF03の設定（社内経理部門用IF）VLAN200の設定（IPアドレスは不要）
  - ④ IF04の設定（社内開発部門用IF）VLAN300の設定（IPアドレスは不要）
  
- 2) Wi-Fiの設定
  - ①SSID01の設定（ゲスト用）
  - ②SSID02の設定（社内経理部門用）
  - ③SSID03の設定（社内開発部門用）
  
- 3) RADIUSサーバ（Authenticationサーバ）の設定
  
- 4) デフォルトルート（DGW）の設定
  
- 5) 無線の設定
  - ①2.4GHzの設定
  - ②5.0GHzの設定

# WebGUIログイン手順



- ①ブラウザを立ち上げ、<https://192.168.0.3> へアクセスします。
- ②上記の警告表示がされますが、「詳細」をクリックします。
- ③「192.168.0.3に進む(安全ではありません)」をクリックします。

# WebGUIログイン手順



※上記のメッセージが表示され場合は「OK」をクリックしてください。

- ①初期値ユーザ名：root、パスワード：rootを入力し、Loginボタンをクリックします。
- ②初回アクセス時にパスワードの変更を求められますので、お客様ご自身にてパスワードの設定変更を実施ください。  
現在のパスワード、新しいパスワード、新しいパスワード（確認用）を入力して設定をクリックします。。

# WebGUIログイン手順

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | <https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600>

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

**Panasonic**

- ▶ 簡易設定
- ▶ 無線ネットワーク設定
- ▶ ネットワーク設定
- ▶ アクセス設定
- ▶ システム設定
- ▶ 状態
- ▶ 保守

### EA-7HW04AP1

製品品番	EA-7HW04AP1
装置時刻	2001/01/01 01:54:18
製品シリアル番号	H22A000077
自装置MACアドレス	08:00:23:b7:a2:50
ファームウェアバージョン	04.00 Rev.0300
ハードウェアバージョン	A1

ログイン完了後の画面です。

# 1) 装置インターフェース設定 ①IF01の設定（管理用IF）

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

## 装置インターフェース設定

装置インターフェース状態一覧

No.	装置インターフェース名	状態	動作モード	IPアドレス	サブネットマスク	VLAN-ID	
1	IF01	有効	固定設定	192.168.0.3	255.255.255.0	—	<b>編集</b>
2	IF02	無効	—	----	----	—	編集
3	IF03	無効	—	----	----	—	編集
4	IF04	無効	—	----	----	—	編集
5	IF05	無効	—	----	----	—	編集
6	IF06	無効	—	----	----	—	編集
7	IF07	無効	—	----	----	—	編集
8	IF08	無効	—	----	----	—	編集
9	IF09	無効	—	----	----	—	編集
10	IF10	無効	—	----	----	—	編集
11	IF11	無効	—	----	----	—	編集
12	IF12	無効	—	----	----	—	編集
13	IF13	無効	—	----	----	—	編集
14	IF14	無効	—	----	----	—	編集
15	IF15	無効	—	----	----	—	編集
16	IF16	無効	—	----	----	—	編集

①メニュー無線ネットワーク設定>装置インターフェース設定 を選択します。

②装置インターフェース設定 画面が表示されますので、IF01の編集ボタンを押下します。

# 1) 装置インターフェース設定 ①IF01の設定 (管理用IF)

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

## 装置インターフェイス編集

装置インターフェイス名 **IF01**

装置インターフェイス設定

インターフェイス  有効  無効

装置インターフェイス名 IF01 (0~16文字)

装置インターフェイス状態

IP動作モード	固定設定
IPアドレス	192.168.0.3
サブネットマスク	255.255.255.0
IP自動設定	有効
DNS動作モード	固定
DNS1	0.0.0.0
DNS2	0.0.0.0

IP動作モード  固定設定 (StaticIP)  自動設定 (DHCP)  PPPoE  設定なし

IPアドレス **192.168.0.101**

サブネットマスク 255.255.255.0

PPP設定

ユーザー名 (0~64文字)

パスワード (0~64文字)

入力確認

IP自動設定  有効  無効

①IP動作モード設定内の、IPアドレス にアドレス値を入力します。  
(例では192.168.0.101)

※初期値192.168.0.3から変更する事になりますが、全設定後に行う”適用“までは、  
IPアドレスは初期値のままです。

# 1) 装置インターフェース設定 ①IF01の設定 (管理用IF)

The screenshot shows the Panasonic web management interface for network settings. The browser address bar shows the URL `https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600`. The page title is "Panasonic". The left sidebar contains a navigation menu with the following items:

- ▶ 簡易設定
- ▼ 無線ネットワーク設定
  - 装置インターフェイス設定
  - SSID設定
  - SSID詳細設定
  - 無線詳細設定
  - Authenticationサーバー設定
  - Accountingサーバー設定
  - DNS転送設定
  - 端末接続許可設定
  - 回線設定
  - Web認証設定
- ▶ ネットワーク設定
- ▶ アクセス設定
- ▶ システム設定
- ▶ 状態
- ▶ 保守

The main content area displays the following settings sections:

- DHCPサーバー設定**  有効  無効
  - 割当開始IPアドレス:
  - 割当個数:  (1~2048)
  - リース期間:  分 (1~1440)
  - ゲートウェイ:
  - DNS1:
  - DNS2:
- DHCPリレー設定**  有効  無効
  - サーバーIPアドレス1:
  - サーバーIPアドレス2:
- IPマスカレード設定**
  - IPマスカレード:  有効  無効
- MSSクランプ動作モード**  設定なし  手動設定  自動設定
  - MSS値:  バイト (536~1460)
- AP間折り返し禁止設定**
  - 対象IPアドレス:
  - 対象MACアドレス:
  - 対象IF:
  - ※ IPアドレスとMACアドレスを設定した場合、MACアドレスが優先されます。

At the bottom of the settings area, there are two buttons: "戻る" (Back) and "設定" (Apply). The "設定" button is highlighted with a red box.

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

# 1) 装置インターフェース設定 ②IF02の設定 (ゲスト用)

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

## 装置インターフェイス編集

装置インターフェイス名 IF02

装置インターフェイス設定

インターフェイス  有効  無効

装置インターフェイス名 IF02 (0~16文字)

装置インターフェイス状態

IP動作モード	設定なし
IPアドレス	-
サブネットマスク	-
IP自動設定	無効
DNS動作モード	自動
DNS1	-
DNS2	-

IP動作モード  固定設定 (StaticIP)  自動設定 (DHCP)  PPPoE  設定なし

IPアドレス 0.0.0.0

サブネットマスク 0.0.0.0

PPP設定

ユーザー名 (0~64文字)

パスワード (0~64文字)

入力確認

IP自動設定  有効  無効

①装置インターフェイス名で、IF02 を選択します。

②装置インターフェイス設定内の、インターフェイス設定 を有効にします。

# 1) 装置インターフェース設定 ②IF02の設定 (ゲスト用)

The screenshot shows the Panasonic Connect web interface for configuring network settings. The left sidebar contains a navigation menu with categories like '簡易設定', '無線ネットワーク設定', 'ネットワーク設定', 'アクセス設定', 'システム設定', '状態', and '保守'. The main content area is titled 'Panasonic' and includes a top navigation bar with links like '装置再起動', '適用', '保存', '更新', '印刷', 'サイトマップ', and 'ログアウト'. The main settings area is divided into several sections: 'DNS動作モード (?)', 'VLAN設定', '転送先設定', 'IGMPスヌーピング設定', and 'DHCPサーバー設定'. The 'VLAN設定' section is highlighted with a red box around the '有効' radio button and another red box around the '100' value in the 'VLAN-ID' field. The 'DHCPサーバー設定' section is also visible, showing fields for '割当開始IPアドレス', '割当個数', 'リース期間', 'ゲートウェイ', 'DNS1', and 'DNS2'.

- ①画面を画面をスクロールし、VLAN設定 を表示させます。
- ②VLAN設定 を有効 に設定します。
- ③VLAN設定内のVLAN-IDに、VLAN値 を入力します。  
(例では100)

# 1) 装置インターフェース設定 ②IF02の設定 (ゲスト用)

The screenshot shows the Panasonic web management interface for network settings. The page is titled "Panasonic" and includes a navigation menu on the left with categories like "無線ネットワーク設定" (Wireless Network Settings) and "ネットワーク設定" (Network Settings). The main content area is divided into several sections:

- DHCPサーバー設定** (DHCP Server Settings): Includes fields for "割当開始IPアドレス" (0.0.0.0), "割当個数" (2048), "リース期間" (60), "ゲートウェイ", "DNS1" (0.0.0.0), and "DNS2" (0.0.0.0).
- DHCPリレー設定** (DHCP Relay Settings): Includes fields for "サーバーIPアドレス1" (0.0.0.0) and "サーバーIPアドレス2" (0.0.0.0).
- IPマスカレード設定** (IP Masquerade Settings): Includes a radio button for "IPマスカレード" (有効/無効).
- MSSクランプ動作モード** (MSS Clamp Action Mode): Includes a radio button for "設定なし" (設定なし/手動設定/自動設定) and a field for "MSS値" (1460).
- AP間折り返し禁止設定** (AP Inter-AP Bounce Prevention Settings): Includes fields for "対象IPアドレス" (0.0.0.0), "対象MACアドレス" (00:00:00:00:00:00), and "対象IF".

At the bottom of the main content area, there are two buttons: "戻る" (Back) and "設定" (Settings). The "設定" button is highlighted with a red box. A red circle with the number 1 is placed over the "設定" button, indicating the next step in the process.

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

# 1) 装置インターフェース設定 ③IF03の設定 (社内経理部門用IF)

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

## 装置インターフェイス編集

装置インターフェイス名 **IF03** ▼

装置インターフェイス設定

インターフェイス  有効  無効

装置インターフェイス名 IF03 (0~16文字)

装置インターフェイス状態

IP動作モード	設定なし
IPアドレス	-
サブネットマスク	-
IP自動設定	無効
DNS動作モード	自動
DNS1	-
DNS2	-

IP動作モード  固定設定 (StaticIP)  自動設定 (DHCP)  PPPoE  設定なし

IPアドレス

サブネットマスク

PPP設定

ユーザー名  (0~64文字)

パスワード  (0~64文字)

入力確認

IP自動設定

IP自動設定  有効  無効

①装置インターフェイス名で、IF03 を選択します。

②装置インターフェイス設定内の、インターフェイス設定 を有効にします。

# 1) 装置インターフェース設定 ③IF03の設定 (社内経理部門用IF)

The screenshot shows the Panasonic web management interface for IF03. The left sidebar contains a navigation menu with categories like '簡易設定', '無線ネットワーク設定', 'ネットワーク設定', 'アクセス設定', 'システム設定', '状態', and '保守'. The main content area is divided into several sections: 'DNS動作モード (?)', 'VLAN設定', '転送先設定', 'IGMPスヌーピング設定', and 'DHCPサーバー設定'. The 'VLAN設定' section is highlighted with a red box, and the 'VLAN-ID' field contains the value '200'. The '無線ネットワーク設定' section is expanded, showing '装置インターフェイス設定', 'SSID設定', 'SSID詳細設定', '無線詳細設定', 'Authenticationサーバー設定', 'Accountingサーバー設定', 'DNS転送設定', '端末接続許可設定', '回線設定', and 'Web認証設定'. The 'ネットワーク設定' section is also expanded, showing 'L2TPトンネル1', 'L2TPトンネル2', 'L2TPトンネル3', and 'L2TPトンネル4'. The 'アクセス設定' section is expanded, showing '無線ブリッジ1' and '無線ブリッジ2'. The 'システム設定' section is expanded, showing '無線ブリッジ1' and '無線ブリッジ2'. The '状態' section is expanded, showing '無線ブリッジ1' and '無線ブリッジ2'. The '保守' section is expanded, showing '無線ブリッジ1' and '無線ブリッジ2'.

①画面を画面をスクロールし、VLAN設定を表示させます。

②VLAN設定を有効に設定します。

③VLAN設定内のVLAN-IDに、VLAN値を入力します。

(例では200)

# 1) 装置インターフェース設定 ③IF03の設定 (社内経理部門用IF)

The screenshot shows the Panasonic web management interface for IF03 configuration. The page is titled "Panasonic" and includes a navigation menu on the left with categories like "無線ネットワーク設定" (Wireless Network Settings) and "ネットワーク設定" (Network Settings). The main content area is divided into several sections:

- DHCPサーバー設定** (DHCP Server Settings): Includes fields for "割当開始IPアドレス" (0.0.0.0), "割当個数" (2048), "リース期間" (60), "ゲートウェイ", "DNS1" (0.0.0.0), and "DNS2" (0.0.0.0).
- DHCPリレー設定** (DHCP Relay Settings): Includes fields for "サーバーIPアドレス1" (0.0.0.0) and "サーバーIPアドレス2" (0.0.0.0).
- IPマスカレード設定** (IP Masking Settings): Includes a radio button for "IPマスカレード" (有効/無効).
- MSSクランプ動作モード** (MSS Clamp Action Mode): Includes a radio button for "設定なし" (設定なし/手動設定/自動設定) and a field for "MSS値" (1460).
- AP間折り返し禁止設定** (AP Loopback Prohibition Settings): Includes fields for "対象IPアドレス" (0.0.0.0), "対象MACアドレス" (00:00:00:00:00:00), and "対象IF".

At the bottom of the page, there are two buttons: "戻る" (Back) and "設定" (Settings). The "設定" button is highlighted with a red box.

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

# 1) 装置インターフェース設定 ④IF04の設定 (社内開発部門用IF)

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

## 装置インターフェイス編集

装置インターフェイス名 **IF04**

装置インターフェイス設定

インターフェイス  有効  無効

装置インターフェイス名 IF04 (0~16文字)

装置インターフェイス状態

IP動作モード	設定なし
IPアドレス	-
サブネットマスク	-
IP自動設定	無効
DNS動作モード	自動
DNS1	-
DNS2	-

IP動作モード  固定設定 (StaticIP)  自動設定 (DHCP)  PPPoE  設定なし

IPアドレス 0.0.0.0

サブネットマスク 0.0.0.0

PPP設定

ユーザー名 (0~64文字)

パスワード (0~64文字)

入力確認

IP自動設定  有効  無効

①装置インターフェイス名で、IF04 を選択します。

②装置インターフェイス設定内の、インターフェイス設定 を有効にします。

# 1) 装置インターフェース設定 ④IF04の設定 (社内開発部門用IF)

The screenshot shows the Panasonic web management interface for IF04. The 'VLAN設定' (VLAN Settings) section is highlighted with a red box, showing '有効' (Enabled) selected and 'VLAN-ID' set to 300. The '転送先設定' (Forwarding Settings) section shows 'イーサネット' (Ethernet) as '有効' (Enabled). The 'DHCPサーバー設定' (DHCP Server Settings) section is also visible.

設定項目	設定値
DNS1	0.0.0.0
DNS2	0.0.0.0
VLAN設定	有効
VLAN-ID	300
CoS値	0
イーサネット	有効
L2TPトンネル1	▼
L2TPトンネル2	▼
L2TPトンネル3	▼
L2TPトンネル4	▼
無線ブリッジ1	有効
無線ブリッジ2	有効
IGMPスヌーピング	無効
DHCPサーバー設定	無効
割当開始IPアドレス	0.0.0.0
割当個数	2048
リース期間	60 分
ゲートウェイ	
DNS1	0.0.0.0
DNS2	0.0.0.0

①画面を画面をスクロールし、VLAN設定を表示させます。

②VLAN設定を有効に設定します。

③VLAN設定内のVLAN-IDに、VLAN値を入力します。

(例では300)

# 1) 装置インターフェース設定 ④IF04の設定 (社内開発部門用IF)

The screenshot shows the Panasonic web management interface for configuring IF04. The browser address bar shows the URL `https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600`. The interface includes a navigation menu on the left with categories like '無線ネットワーク設定' (Wireless Network Settings) and 'ネットワーク設定' (Network Settings). The main content area is divided into several sections for configuration:

- DHCPサーバー設定** (DHCP Server Settings): Includes fields for '割当開始IPアドレス' (0.0.0.0), '割当個数' (2048), 'リース期間' (60), 'ゲートウェイ', 'DNS1' (0.0.0.0), and 'DNS2' (0.0.0.0).
- DHCPリレー設定** (DHCP Relay Settings): Includes fields for 'サーバーIPアドレス1' (0.0.0.0) and 'サーバーIPアドレス2' (0.0.0.0).
- IPマスカレード設定** (IP Masquerade Settings): Includes a radio button for 'IPマスカレード' (有効/無効).
- MSSクランプ動作モード** (MSS Clamp Action Mode): Includes a radio button for '設定なし' (selected), '手動設定', and '自動設定', and a field for 'MSS値' (1460).
- AP間折り返し禁止設定** (AP Inter-AP Forwarding Prohibition Settings): Includes fields for '対象IPアドレス' (0.0.0.0), '対象MACアドレス' (00:00:00:00:00:00), and a dropdown for '対象IF'.

At the bottom of the configuration area, there are two buttons: '戻る' (Back) and '設定' (Apply/Save), with the '設定' button highlighted by a red box. A vertical scrollbar is visible on the right side of the main content area.

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

## 2) Wi-Fi設定 ①SSID01の設定（ゲスト用）

SSID設定

SSID名一覧

No.	SSID名	SSID	2.4GHz	5GHz	装置インターフェイス名	
1	SSID01		無効	無効		編集
2	SSID02		無効	無効		編集
3	SSID03		無効	無効		編集
4	SSID04					
5	SSID05					
6	SSID06					
7	SSID07		無効	無効		編集
8	SSID08		無効	無効		編集
9	SSID09		無効	無効		編集
10	SSID10		無効	無効		編集
11	SSID11		無効	無効		編集
12	SSID12		無効	無効		編集
13	SSID13		無効	無効		編集
14	SSID14		無効	無効		編集
15	SSID15		無効	無効		編集
16	SSID16		無効	無効		編集

①メニュー無線ネットワーク設定>SSID設定 を選択します。

②SSID設定 画面が表示されますので、SSID01の編集ボタンを押下します。

## 2) Wi-Fi設定 ①SSID01の設定（ゲスト用）

SSID名 SSID01 (0~16文字)

SSID g-wifi (0~32文字)

ブリッジインターフェイス設定

装置インターフェイス名 IF02

アクセス制御

端末間通信  許可  禁止

自装置アクセス  許可  禁止

最大端末接続台数 256 (1~256)

最低接続保障台数 0 (0~256)

端末接続監視時間 600 秒 (5~3600)

無線インターフェイス設定

2.4GHz帯  有効  無効

5GHz帯  有効  無効

SSID詳細設定

セキュリティ設定

セキュリティ種別 オープン(OWEなし)

Transition Indication 0 (0~15)

MAC認証  有効  無効

SSIDステルス  有効  無効

①SSID設定の SSID にSSID値 を入力します。

(例では g-wifi )

②ブリッジインターフェイス設定内の装置インターフェイス名で、IF02 を選択します。

(IF02にてVLAN100が設定されています)

※ゲスト用SSIDではセキュリティ設定は無しなので、設定不要（初期値のまま）です。

## 2) Wi-Fi設定 ①SSID01の設定 (ゲスト用)

192.168.0.3/setting.html?ver=240

セキュリティ保護なし | https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▶ ネットワーク設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

再認証  有効  無効

再認証周期  秒 (60~86400)

Authentication/Accountingサーバー状態

Authenticationサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Accountingサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Authentication/Accountingサーバー設定

Authenticationサーバー番号

NAS-Identifier  (0~253文字)

NAS-Identifier(ROKH/2GHz)  (0~48文字)

NAS-Identifier(ROKH/5GHz)  (0~48文字)

NAS-IP-Address

Accounting  有効  無効

Accountingサーバー番号

192.168.0.3 の内容

警告

セキュリティ種別がオープン（暗号化無し）に設定されており、情報漏洩などのリスクが存在します。

安全にご使用いただくため、キャンセルボタンを押してオープン以外に変更してください。

（変更しなかったことで生じたいかなる損害についても、当社は責任を負わないものとします。）

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

セキュリティなしの設定のため、左の警告画面がポップアップしますがOKを押下します。

## 2) Wi-Fi設定 ②SSID02の設定（社内経理部門用）

SSID編集

SSID名 **SSID02**

SSID設定

SSID名 SSID02 (0~16文字)

SSID **a-wifi** (0~32文字)

ブリッジインターフェイス設定

装置インターフェイス名 **IF03**

アクセス制御

端末間通信  許可  禁止

自装置アクセス  許可  禁止

最大端末接続台数 256 (1~256)

最低接続保障台数 0 (0~256)

端末接続監視時間 600 秒 (5~3600)

無線インターフェイス設定

2.4GHz帯  有効  無効

5GHz帯  有効  無効

SSID詳細設定

セキュリティ設定

セキュリティ種別 **WPA3エンタープライズ**

Transition Indication 0 (0~15)

MAC認証  有効  無効

SSIDステルス  有効  無効

①SSID名で、SSID02 を選択します。

②SSID設定の SSID にSSID値 を入力します。  
(例では a-wifi )

③ブリッジインターフェイス設定内の装置インターフェイス名で、IF03 を選択します。  
(IF03にてVLAN200が設定されています)

④セキュリティ設定内のセキュリティー種別で、WPA3エンタープライズ を選択します。

## 2) Wi-Fi設定 ②SSID02の設定（社内経理部門用）

再認証  有効  無効  
再認証周期  秒 (60~86400)

Authentication/Accountingサーバー状態

Authenticationサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Accountingサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Authentication/Accountingサーバー設定

Authenticationサーバー番号

NAS-Identifier  (0~253文字)

NAS-Identifier(ROKH/2GHz)  (0~48文字)

NAS-Identifier(ROKH/5GHz)  (0~48文字)

NAS-IP-Address

Accounting  有効  無効

Accountingサーバー番号

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

※セキュリティー/WPA3エンタープライズで利用するRADIUSサーバ（外部認証サーバ）の指定番号を1（初期値）として、“Authenticaitonサーバー設定”の1番に、RADIUSサーバの詳細設定を行います。

（（3）RADIUSサーバ（Authenticationサーバ）の設定を参照ください）

## 2) Wi-Fi設定 ③SSID03の設定（社内開発部門用）

SSID名 **SSID03**

SSID設定

SSID名 SSID03 (0~16文字)

SSID **d-wifi** (0~32文字)

ブリッジインターフェイス設定

装置インターフェイス名 **IF04**

アクセス制御

端末間通信  許可  禁止

自装置アクセス  許可  禁止

最大端末接続台数 256 (1~256)

最低接続保障台数 0 (0~256)

端末接続監視時間 600 秒 (5~3600)

無線インターフェイス設定

2.4GHz帯  有効  無効

5GHz帯  有効  無効

SSID詳細設定

セキュリティ設定

セキュリティ種別 WPA3/パーソナル

パスワード 12345678 (8~64文字)

入力確認

SAE認証方式 2 (0~2)

①SSID名で、SSID03 を選択します。

②SSID設定の SSID にSSID値 を入力します。  
(例では d-wifi )

③ブリッジインターフェイス設定内の装置インターフェイス名で、IF04 を選択します。  
(IF04にてVLAN300が設定されています)

④セキュリティ設定内のセキュリティー種別で、WPA2パーソナル を選択します。

⑤パスワードを入力します。  
(例では12345678)

## 2) Wi-Fi設定 ③SSID03の設定（社内開発部門用）

再認証  有効  無効  
再認証周期  秒 (60~86400)

Authentication/Accountingサーバー状態

Authenticationサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Accountingサーバー情報

無線周波数	サーバー番号	現用サーバー	サーバー切り替え時刻
2.4GHz	1	1	—
5GHz	1	1	—

Authentication/Accountingサーバー設定

Authenticationサーバー番号

NAS-Identifier  (0~253文字)

NAS-Identifier(ROKH/2GHz)  (0~48文字)

NAS-Identifier(ROKH/5GHz)  (0~48文字)

NAS-IP-Address

Accounting  有効  無効

Accountingサーバー番号

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

# 3) RADIUSサーバ (Authenticationサーバ) の設定

Authenticationサーバ設定

Authenticationサーバ番号 1

サーバ#1設定 有効 無効

サーバIPアドレス 10.167.0.201

サーバポート番号 1812 (0~65535)

共有秘密鍵 testing123 (0~64文字)

入力確認

サーバ#2設定 有効 無効

サーバIPアドレス 0.0.0.0

サーバポート番号 1812 (0~65535)

共有秘密鍵 (0~64文字)

入力確認

設定

Authenticationサーバリスト

No.	サーバ番号	接続	IP
1	1	無効	0.0.0.0
	2	無効	0.0.0.0
2	1	無効	0.0.0.0
	2	無効	0.0.0.0
3	1	無効	1812
	2	無効	1812
4	1	無効	1812
	2	無効	1812

①メニュー無線ネットワーク設定>Authenticaitonサーバ設定 を選択します。

※Authenticaitonサーバ番号 1番 が選択されている状態になります。

②サーバ#1設定を有効にします。

③サーバ#1設定内のサーバIPアドレスに、アドレス値を入力します。  
(例では10.167.0.201)

④サーバ#1設定内の共通秘密鍵に、値を入力します。  
(例ではtesting123)

⑤設定ボタンを押下します。

## 4) デフォルトルート (DGW) の設定

Panasonic

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

▶ 簡易設定

▼ 無線ネットワーク設定

- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▼ ネットワーク設定

- PPP設定
- L2TP設定
- IPsec設定
- イーサネットポート情報
- ルーティング設定
- ルート設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

### ルート設定

デフォルトルート設定

ゲートウェイ: 192.168.0.254

装置インターフェイス名: IF01

設定

スタティクルート設定 1

宛先IPアドレス: 0.0.0.0

マスク値: 0.0.0.0

ゲートウェイ: 0.0.0.0

装置インターフェイス名: [ ]

設定

ルート設定一覧

No.	宛先IPアドレス	マスク値	ゲートウェイ	装置インターフェイス名	
DR	—	—	0.0.0.0		削除
1	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
2	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
3	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
4	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
5	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
6	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
7	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
8	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除
9	0.0.0.0	0.0.0.0	0.0.0.0		削除

- ①メニューネットワーク設定>ルート設定 を選択します。
- ②デフォルトルート設定内の、ゲートウェイ にアドレス値を入力します。  
(例では192.168.0.254)
- ③デフォルトルート設定内の、装置インターフェイス名で、IF01 を選択します。
- ④設定ボタンを押下します。

## 5) 無線の設定 ①2.4GHzの設定

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

### Panasonic

▶ 簡易設定

- ▼ 無線ネットワーク設定
- 装置インターフェイス設定
- SSID設定
- SSID詳細設定
- 無線詳細設定
- Authenticationサーバー設定
- Accountingサーバー設定
- DNS転送設定
- 端末接続許可設定
- 回線設定
- Web認証設定

▼ ネットワーク設定

- PPP設定
- L2TP設定
- IPsec設定
- イーサネットポート情報
- ルーティング設定
- ルート設定

▶ アクセス設定

▶ システム設定

▶ 状態

▶ 保守

### 無線詳細設定

使用周波数帯 **2.4GHz** ▼ 最大送信出力一覧 11b/g/n 11a/n 11ac 11ax

運用動作モード

無線インターフェイス  有効  無効

ビーコン間隔 (?)  ミリ秒 (40~2000)

DTIM間隔  (1~255)

チャンネル制御

チャンネル制御モード  固定  自動  自動2

使用チャンネル番号 **6** ▼

選択対象チャンネル番号 (?)  1  2  3  4  5  6  7  8  9  10  11  12  13

最大周波数帯域幅  20MHz  40MHz

送信出力設定

出力レベル (?)  dBm (1~22)

プロテクション

ERPプロテクション動作 (?)  OFF  CTS-to-self  RTS/CTS

OBSSスキャン設定

OBSSスキャン動作  有効  無効

最大端末接続台数

最大端末接続台数  台 (1~256)

①メニュー無線ネットワーク設定>無線詳細設定を選択します。

※使用周波数帯が、2.4GHzに選択されている状態になります。

②チャンネル制御設定内の、使用チャンネル番号で、6を選択します。

③チャンネル制御設定内の、最大周波数帯域幅で、20MHzを選択します。

## 5) 無線の設定 ①2.4GHzの設定

The screenshot shows the Panasonic wireless settings interface. The left sidebar contains a navigation menu with categories like '無線ネットワーク設定' (Wireless Network Settings) and 'ネットワーク設定' (Network Settings). The main content area is divided into several sections:

- ビーコン間隔 (?)**: 100 ミリ秒 (40~2000)
- DTIM間隔**: 1 (1~255)
- チャンネル制御**
  - チャンネル制御モード:  固定  自動  自動2
  - 使用チャンネル番号: 6
  - 選択対象チャンネル番号 (?):  1  2  3  4  5  6  7  8  9  10  11  12  13
  - 最大周波数帯域幅:  20MHz  40MHz
- 送信出力設定**
  - 出力レベル (?): 22 dBm (1~22)
- プロテクション**
  - ERPプロテクション動作 (?):  OFF  CTS-to-self  RTS/CTS
- OBSSスキャン設定**
  - OBSSスキャン動作:  有効  無効
- 最大端末接続台数**
  - 最大端末接続台数: 256 台 (1~256)
- ATF制御**
  - ATF:  有効  無効
  - ※ ATF制御は2.4GHz/5GHz共通の設定となります。

At the bottom left, the **設定** (Apply) button is highlighted with a red box.

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

## 5) 無線の設定 ②5.0GHzの設定

The screenshot shows the Panasonic wireless settings interface. The left sidebar contains a navigation menu with '無線ネットワーク設定' (Wireless Network Settings) and '無線詳細設定' (Wireless Detailed Settings) highlighted with red boxes. The main content area is titled '無線詳細設定' (Wireless Detailed Settings) and includes several sections:

- 使用周波数帯** (Frequency Band): A dropdown menu is set to '5GHz'.
- 運用動作モード** (Operation Mode): '無線インターフェイス' (Wireless Interface) is set to '有効' (Enabled).
- チャンネル制御** (Channel Control):
  - チャンネル制御モード** (Channel Control Mode): Set to '固定' (Fixed).
  - 使用チャンネル番号** (Channel Number): A dropdown menu is set to '44'.
  - 選択可能帯域** (Selectable Bandwidth): Set to 'W52/W53/W56'.
  - 選択対象チャンネル番号** (Selectable Channel Numbers): A grid of checkboxes for channels 36, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64, 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140, and 144. Channel 44 is checked.
- ZW-DFS制御** (ZigBee DFS Control): Set to '無効' (Disabled).
- 最大周波数帯域幅** (Maximum Bandwidth): Radio buttons for '20MHz', '40MHz', and '80MHz'. '20MHz' is selected.
- 送信出力設定** (Transmit Power Setting): '出力レベル' (Output Level) is set to '22' dBm.

①使用周波数帯で、5GHz を選択します。

②チャンネル制御設定内の、使用チャンネル番号で、44 を選択します。

③チャンネル制御設定内の、最大周波数帯域幅で、20MHz を選択します。

## 5) 無線の設定 ②5.0GHzの設定

192.168.0.3/setting.html?ver=240 x +

セキュリティ保護なし | https://192.168.0.3/setting.html?ver=24082600

装置再起動 | 適用 | 保存 | 更新 | 印刷 | サイトマップ | ログアウト

### Panasonic

- ▶ 簡易設定
- ▼ 無線ネットワーク設定
  - 装置インターフェイス設定
  - SSID設定
  - SSID詳細設定
  - 無線詳細設定
  - Authenticationサーバー設定
  - Accountingサーバー設定
  - DNS転送設定
  - 端末接続許可設定
  - 回線設定
  - Web認証設定
- ▼ ネットワーク設定
  - PPP設定
  - L2TP設定
  - IPsec設定
  - イーサネットポート情報
  - ルーティング設定
  - ルート設定
- ▶ アクセス設定
- ▶ システム設定
- ▶ 状態
- ▶ 保守

使用チャンネル番号: 44

選択可能帯域: W52/W53/W56

選択対象チャンネル番号 (?):

W52	<input checked="" type="checkbox"/>	36	<input checked="" type="checkbox"/>	40	<input checked="" type="checkbox"/>	44	<input checked="" type="checkbox"/>	48
W53	<input checked="" type="checkbox"/>	52	<input checked="" type="checkbox"/>	56	<input checked="" type="checkbox"/>	60	<input checked="" type="checkbox"/>	64
W56	<input checked="" type="checkbox"/>	100	<input checked="" type="checkbox"/>	104	<input checked="" type="checkbox"/>	108	<input checked="" type="checkbox"/>	112
	<input checked="" type="checkbox"/>	116	<input checked="" type="checkbox"/>	120	<input checked="" type="checkbox"/>	124	<input checked="" type="checkbox"/>	128
	<input checked="" type="checkbox"/>	132	<input checked="" type="checkbox"/>	136	<input checked="" type="checkbox"/>	140	<input checked="" type="checkbox"/>	144

ZW-DFS制御 ○有効 ●無効

自動リフレッシュモード: 無効

自動リフレッシュ時刻: 3 時 (0~23)

自動リフレッシュサイクル: 毎日

最大周波数帯域幅: ●20MHz ○40MHz ○80MHz

送信出力設定

出力レベル (?): 22 dBm (1~22)

干渉検出設定

干渉検出閾値: 80 % (1~100)

最大端末接続台数

最大端末接続台数: 256 台 (1~256)

ATF制御

ATF ○有効 ●無効

※ ATF制御は2.4GHz/5GHz共通の設定となります。

設定

①画面を下までスクロールし、設定ボタンを押下します。

# 設定の保存 (save) と適用 (apply)

- ① 全て設定完了したら画面右上オレンジの「保存」をクリックします。
- ② 「保存」が完了したら、「適用」をクリックします。

※先に「適用」をしますと、APのIPアドレスが設定値に変わり一旦切断されますので、ご注意ください。「適用」完了後、再度ログインする場合は、APに設定されたIPアドレスへアクセスしてください。

※適応実施時にネットワーク構成が更新されることによる警告メッセージが表示された場合も「はい」をクリックして実行します。

※ 「適用」完了まで、約2分です。

# 設定事例のコマンド内容

```
interface ip set IF01 192.168.0.101 255.255.255.0
interface vlan status IF02 enabled
interface vlan vlanid IF02 100
interface status IF02 enabled
interface vlan status IF03 enabled
interface vlan vlanid IF03 200
interface status IF03 enabled
interface vlan status IF04 enabled
interface vlan vlanid IF04 300
interface status IF04 enabled
route default 192.168.0.254 IF01
authserver status 1 1 enabled
authserver server 1 1 10.167.0.201
authserver secretkey 1 1 testing123
```

右に続く

```
ssidconfig interface SSID01 IF02
ssidconfig ssid SSID01 g-wifi
ssidconfig interface SSID02 IF03
ssidconfig ssid SSID02 a-wifi
ssidconfig security SSID02 wpa3-enterprise
ssidconfig interface SSID03 IF04
ssidconfig ssid SSID03 d-wifi
ssidconfig security SSID03 wpa2-personal
ssidconfig psk SSID03 12345678
wlanconfig channel set 1 6
wlanconfig channel width 1 20MHz
wlanconfig channel set 2 44
wlanconfig channel width 2 20MHz
```

※設定事例内容のコマンドリファレンス表示一覧です。  
(コマンドプロンプトまたはTeratermなどで、SSHログイン後、show config で表示)  
※初期値の設定項目は表示されません。